

令和5年9月21日開催 和泉市教育委員会意見交換会並びに事前報告会要旨

出席者 小川教育長、深堀職務代理者、酉家教育委員、久米教育委員、中西教育委員、小谷教育委員

教育委員会事務局 土本教育次長、辻部長、上田指導監、鍛冶次長、前田次長、阪下室長、隅埜所長、鈴木課長、仲谷課長、森下課長

	議題	要旨
案件1	和泉市教育センターの庁舎第一分館（旧和泉市立病院南館）への移転について	<p>○経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧和泉市立病院南館の建物有効活用</li> <li>・老朽化による施設更新問題・周辺保育園等の借地問題の解決</li> </ul> <p>○移転による変更点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能は現状と変わらない</li> <li>・PC教室を無くす</li> </ul> <p>→教員研修等は校務用PCを使用し、グリーンルーム児童生徒は1人1台学習用端末を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書センター・カウンセリング待合室を設置</li> <li>・屋上に約40㎡の菜園（畑）スペースの確保</li> </ul> <p>○今後のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度予算として、移転・備品等の予算計上</li> <li>・令和6年度に「和泉市教育センター条例」を改正し、市民等へ周知</li> <li>・令和7年5月に供用開始（移転）予定</li> </ul> <p>●委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上の使用に関する厳重な安全管理が必要</li> <li>・台風等により屋上の設置物が飛ばされること等の防止対策が必要</li> </ul>
案件2	いずみの国歴史館の「文書館」機能設置について	<p>○経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20年以上におよぶ市史編さん事業の蓄積と公文書をめぐる全国的な状況を踏まえ、「和泉創発プラン」において、歴史資料公開事業として文書館の開設が掲げられた</li> </ul> <p>○政策調整委員会への付議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・付議理由：「全庁的若しくは複数の部に関係する事業で総合的な調整を要する事項」にあたるため</li> <li>・審議事項</li> </ul>

<p>案件 3</p>	<p>令和 5 年度全国学力・学習状況調査結果について</p>	<p>(1)市史編さん室をまなびのプラザ（現、緑化センター事務所）へ移設し、いずみの国歴史館に「文書館」機能を設置すること  (2)上記(1)に伴い、緑化センター事務所をまなびのプラザ内（現緑の工房）に移設すること</p> <p>○効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の知る権利を保障し、効率的な行政運営に寄与</li> <li>・市民の誇りと郷土愛醸成に寄与</li> </ul> <p>○今後のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 5 年度中に「いずみの国歴史館条例」の改正、「公文書管理条例」の制定</li> <li>・令和 6 年度に歴史公文書の評価選別、まなびのプラザや書庫の改修</li> <li>・令和 7 年度にまなびのプラザへの移転、開館準備</li> <li>・令和 8 年 4 月「文書館」機能オープン予定</li> </ul> <p>●委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「文書館」という言葉を聞くと、そのような名称の建物が造られると混乱してしまう方もいるのではないか</li> </ul> <p>○平均正答率</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校ともに大阪府・全国を下回った</li> <li>・小中学校ともに過去 7 年間で最も低い（対府比）</li> </ul> <p>○無解答率</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校ともに過去 5 年間で最も全国・大阪府との差が広がった</li> </ul> <p>○臨時校長会（9 月 12 日）での意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の全国学力・学習状況調査に対する意識変革が改めて必要</li> <li>・自分の考えを他者に説明する機会を設け、アウトプットの力をつける</li> </ul> <p>●委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールソーシャルワーカーや学生サポーターなどの人的資源の投入や財政面での予算の投入も必要</li> <li>・家庭学習時間の二極化が広がっているのではないか</li> <li>・抽象概念が出てくる小学校 4 年生ぐらいで、授業についてい</li> </ul>
-------------	---------------------------------	--

<p>案件 4</p>	<p>令和 5 年第 3 回総合教育会議に向けて</p>	<p>けなくなる子が多いのではないか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望塾の学力向上に対する効果検証が必要</li> <li>・普段のコミュニケーションの中で、子どもたちの考えを引き出すことに注力してほしい</li> </ul> <p>○スクールソーシャルワーカー（SSW）・スクールカウンセラー（SC）の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全 10 中学校区拠点校に SSW 配置完了予定（R6）</li> <li>・学校アセスメントやケース会議の組織対応を充実させ、各種事案の未然予防、生じた事案の解消を図る</li> <li>・小学校への SC 配置を拡充予定（R6・小 15 校・年間 10 回 小 6 校・年間 18 回）</li> <li>・相談業務に加え、チーム学校の一員としての機能を充実させ各種事案の未然予防、生じた事案の解消を図る</li> </ul> <p>○学校からの相談体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの報告や相談先は、CSSW（チーフ SSW）・SSW・指導主事など様々</li> <li>・CSSW は教育と福祉の連携役を担っているが、対応件数、不登校者数は年々増加しており、学校への対応に時間を取られている状況</li> </ul> <p>→こども支援コーディネーター（社会福祉士）を学校教育室に常駐させ、学校からの報告、相談案件を一元整理・集約して、福祉部局との連携をさらに強化するとともに、CSSW と連携分担して対応する必要がある</p>
-------------	------------------------------	---